

小学部自己評価

番号	評価項目	評価			
		A	B	C	D
児童生徒の実態把握や教育的ニーズの焦点かを図り、主体的に学ぶことができる。	1 児童生徒一人一人の実態やニーズを的確に把握するための定期的な話し合いを行う	18%	78%	2%	2%
	2 把握した実態やニーズをもとに具体的な手立てや指導・支援の方法を工夫・改善し、授業の充実を図る	18%	80%	2%	0%
	3 授業研究会や研修会等に積極的に参加し、日々の授業改善を図る	10%	66%	24%	0%
	4 一人一人の教育目標の達成について評価し、授業の改善に努める	10%	86%	4%	0%
個別の教育支援計画、個別の指導計画の適切な活用を図り、自立と社会参加に向けた指導の充実に努める。	5 キャリア教育の一貫として、基本的な生活習慣を身に付けるための指導の充実に努める	18%	76%	6%	0%
	6 個別の教育支援計画や移行支援計画の改善を図り、学校及び各関係機関の役割を明確にして進路移行支援体制の構築及び連携強化を図る	10%	68%	22%	0%
	7 児童や保護者が必要としている進路の情報提供を、中学部・高等部と連携し行う	2%	33%	57%	8%
保護者や関係機関と連携を図り、健康・安全教育の更なる充実に努める。	8 保護者と共通理解を図りながら、安全で段階的な通学指導に努める	16%	82%	2%	0%
	9 交通安全教室や避難訓練を計画的に実施し、安全学習の充実に努める	29%	69%	2%	0%
	10 食育に関する研修会や歯みがき指導等を行い、肥満防止や生活習慣の確立を中心とした健康な身体づくりに努める	20%	64%	16%	0%
	11 校舎内外の衛生と美化を図り、健やかな心と体を育む環境づくり(衛生・安全・快適空間)に努める	18%	80%	2%	0%
	12 いじめ防止基本方針に基づいて、組織的対応を行いながらいじめ防止に努める	22%	74%	4%	0%
「地域支援センターあいづ」が中心となり、教育相談や支援会議等の実施及び関係機関と連携を図り、センターの機能の更なる充実に努める。	13 校内の児童生徒や保護者、教員のニーズに応じた教育相談や支援会議を実施する	24%	70%	6%	0%
	14 地域の教育的ニーズを把握するとともに、校内の人材を的確に生かしたセンターの機能を果たす	14%	76%	8%	2%
	15 ホームページの更新や充実に努め、情報の発信を行う	8%	76%	14%	2%
	16 「学校案内」の刷新と広報の充実に努める	10%	80%	8%	2%

